

Environment Management Report 2023



**Innovation
Kindness Saftey**



株式会社アイ・ケイ・エス

2023年度

環境経営レポート



対象期間 2023年4月1日～2024年3月31日

発行 2024年12月15日

会社概要

会社名 株式会社アイ・ケイ・エス
本社 〒800-0314 福岡県京都郡苅田町幸町7-149
TEL:093-436-2027 FAX:093-436-0011
浜松 〒433-8112 静岡県浜松市北区初生町469-4
TEL:053-436-3325 FAX:053-439-3326
代表者 代表取締役 石山安史
URL <http://iks-gr.co.jp>
事業内容 搬送設備設計・製造・工事
従業員数 31名

認証登録の対象組織と活動

環境活動期間 2023年4月1日～
2024年3月31日
対象範囲 本社工場・浜松事業所(全組織)
事業内容 搬送設備設計・製造・工事
認証登番号 0000268
認証登録日 本社2005年4月25日
浜松2015年4月25日



CONTENT'S

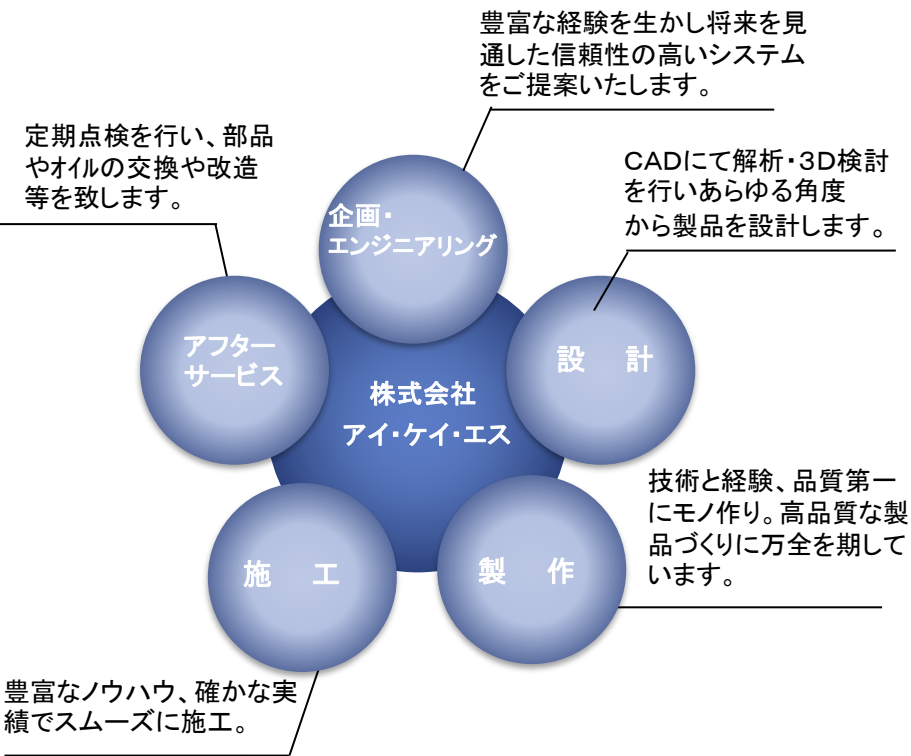
1. 会社概要
 2. 環境経営方針・理念
 3. 事業内容
 4. 環境システム組織図
 5. エコアクション21とSDGsの関係
 6. 環境経営目標
 7. 環境負荷の実績
 8. 環境経営目標の取り組み結果
 9. 二酸化炭素の排出量の削減
 10. ガソリン・軽油使用量の削減
 11. 産業廃棄物排出量の削減
 12. PRTR物質使用量の削減
 13. 次年度の取り組み内容
 14. これまでの活動内容
 15. 環境関連法規制の遵守状況
- 代表者の評価

事業内容

搬送システムの設計、製造、施工

「夢・構造・勇氣」をモットーに少数精鋭の従業員で、お客様の要請に応えるべく技術改革を繰り返し、性能・品質・価格・安全への徹底し、環境に配慮し地球環境・人々の生活を支え持続可能な社会や暮らしをめざし努力しております。地域社会とより密接に繋がりを持ち、地域に根ざした優良企業として地元を中心に貢献をしていきたいと考えています。

あらゆるニーズに対応できるフレキシブルなエンジニアリング搬送システムの設計、製造、施工



本社工場主要設備一覧					浜松工場主要設備一覧			
名称	型番	規格	メーカー	台数	型番	規格	メーカー	台数
レーザー加工機	OPTPLEXNEXUS	3015	Mazak	1	sp510Mk II	510	Mazak	1
マシニングセンタ	VARIAXIS i-700	630 x 1100	Mazak	1	VHR-G	1100 x 280	SHIZUOKA	1
立形マシニングセンタ	FNC-128A30	1250 x 800	makino	1				
ブレーキプレス	FaBn II -8025	80 t	AMADA	1	PSA5012	50 t	コマツ	1
横フライス盤	MH3P II	1000 x 350	OKK	1				
旋盤	TAL-460	6尺	TAKIZAW	1	STRONG	650	HOWA	1
アイソワーカー	IW-45 II	45t	AMADA	1	IW45 II	45 t		1
半自動溶接機	YD-350UR1	350A	パナソニック	9	YA350	350	パナソニック	8
卓上ボール盤	AUD—550	550	ASHINA	2	KUD-550	550	KIWA	2
三次元測定機	Xmseries	XM-1200	KEYENCE	1	SOISIC	0020LD	MENSI	1
コンプレッサー	OSP-VARN2	7・11KVA	HITACHI	2	OSP-VARN2	11KVA	HITACHI	2
天井クレーン	HAMA6—AT	2.8 t・5 t	大江鉄工所	4	NHEE-2.8	2.8 t	日本ホイスト	2
フォークリフト	WF03	3.5 t	日産	1	FJ02	2 t	日産	1

環境経営方針 基本理念

基本理念

弊社は、あらゆる企業活動において環境に配慮するとともに、環境負荷の少ない製品や、サービスを継続的に開発や改善を行い社会、そして地球環境の保全に貢献していきます。

環境経営方針

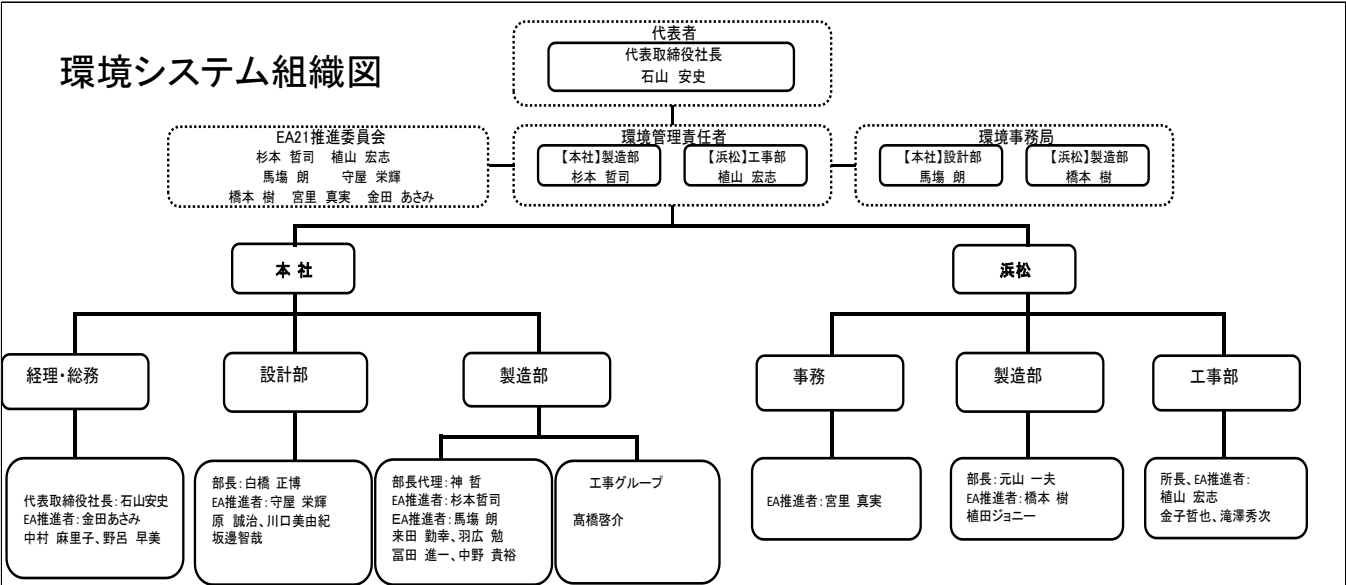
- 1. 事業活動全般で、省エネルギー、省排出物、省資源を心がけ安全保全に取り組む。
- 2. 製造部門での電気消費量削減に取り組む。
- 3. 設計部門での省エネルギー、省資源の製品開発に取り組む。
- 4. 関連する環境関連の法規制や条例を遵守する。
- 5. 製造する製品とサービスにおいて環境に配慮する。
- 6. 化学物質使用量の管理、及び削減に取り組む。

制定日：2005年03月01日

株式会社 アイ・ケイ・エス

改訂日：2015年03月13日

代表取締役社長石山安史



役割表-本社-

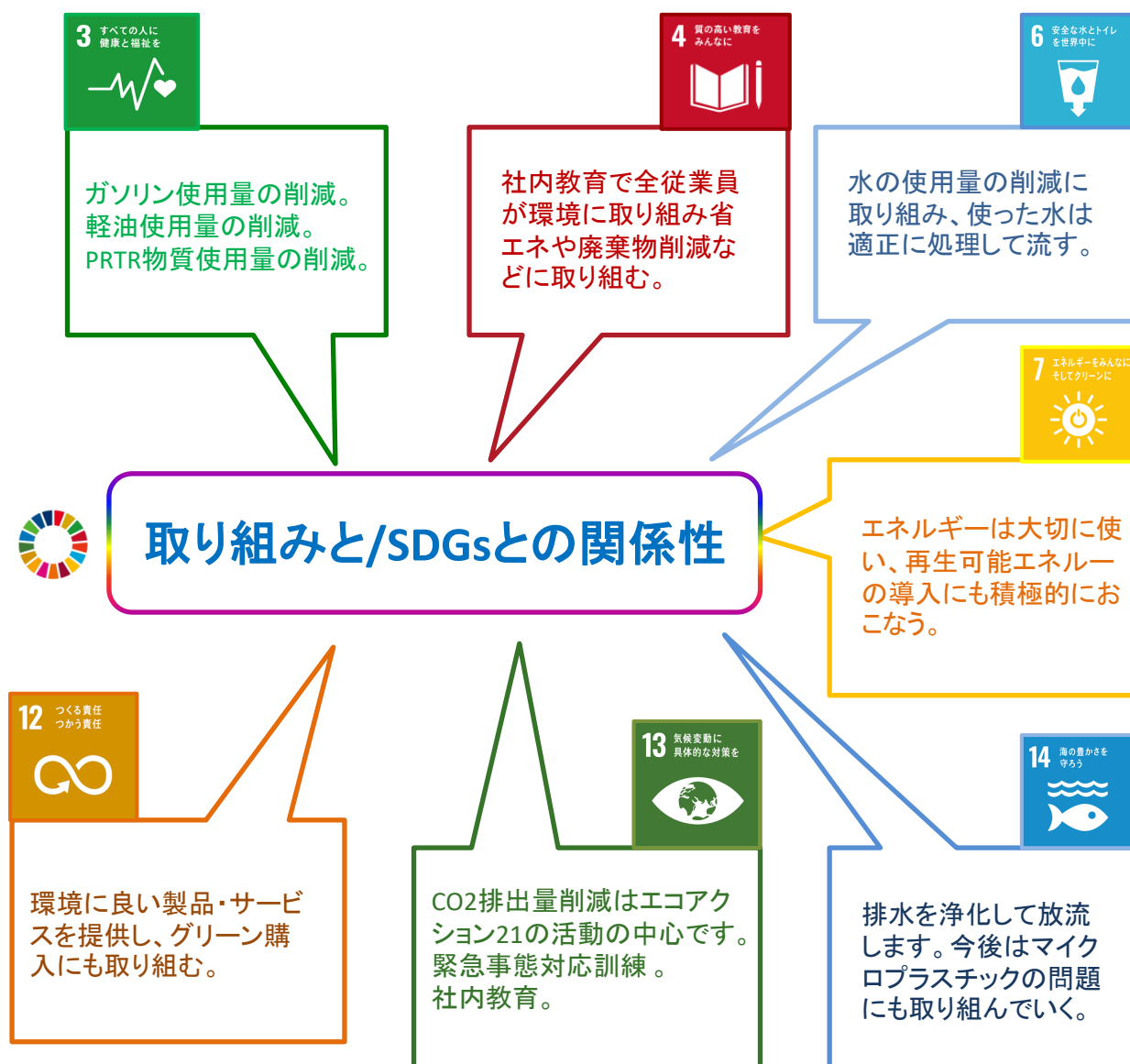
氏名	所属	役割・責任・権限・使命
石山 安史	代表者 (代表取締役社長)	●環境経営全般について責任と権限を持つ ●環境方針の作成、改訂をする ●環境への取り組みを実施するため資源を準備する ●エコアクション21全体の取り組み状況を評価し、見直しを実施する
杉本 哲司	環境管理 責任者	●環境目標、環境活動計画を立て、3か月に1度、達成状況及び実施状況の見直しをする ●環境経営システムを構築し、その運用状況の結果を代表者に報告する ●環境方針以外の環境文書、記録の改善点を是正する
馬場 朗	環境事務局	●環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する文書及び記録、毎年のデータ集計、作成、管理を行う ●エコアクション21委員会を開催し、実行状況、取組結果を審議し、改善点を是正する
白橋 正博 神 哲	部門長	●環境方針、環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ●環境目標達成の為、自部門の環境活動を責任をもって推進し、エコアクション21委員会で結果報告、新たな目標設定を積極的に行う ●自部門に関連する法規制を遵守する
	全従業員	●環境方針に従い、自主的に環境目標の達成に貢献するよう行動する

役割表-浜松事業所-

氏名	所属(役職)	役割・責任・権限・使命
元山 一夫	代表者	●浜松における環境経営全般について責任と権限を持つ ●環境への取り組みを実施するため資源を準備する ●エコアクション21浜松の取り組み状況を評価し、見直しを実施する
植山 宏志	環境管理 責任者	●環境目標、環境活動計画を立て、3か月に1度、達成状況及び実施状況の見直しをする ●環境経営システムを構築し、その運用状況の結果を代表者に報告する ●環境方針以外の環境文書、記録の改善点を是正する
橋本 樹	環境事務局	●環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する文書及び記録、毎年のデータ集計、作成、管理を行う ●エコアクション21委員会を開催し、実行状況、取組結果を審議し、改善点を是正する
植山 宏志	部門長	●環境方針、環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ●事業所に関連する法規制を遵守する
	全従業員	●環境方針に従い、自主的に環境目標の達成に貢献するよう行動する

エコアクション21とSDGsの関係

2015年9月の国連サミットで決めた世界中の人が幸せに暮らせるため経済・社会・環境の3つのバランスが取れた社会をつくろうというものです。「誰一人取り残さない」を理念に、人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を2030年までに達成するという目標に向けて、17のゴール(目標)とそれぞれの下により具体的な169のターゲットがあります。エコアクション21での取組は、下表のとおりSDGs達成に向けた取組にも直結します。



環境目標・実績

	年度		基準値	2023年			2024年	2025年	2026年
項目	単位		2017	目標	実績	達成状況	目標	目標	目標
二酸化炭素の排出量	kg-CO ₂	本社	102,380	90,095	77,341	◎	88,047	85,999	83,952
		浜松	75,646	66,569	50,990	◎	65,056	63,543	62,030
電気使用量	kWh	本社	143,550	126,324	135,478	△	123,453	120,582	117,711
		浜松	109,578	96,429	73,469	◎	94,237	92,046	89,854
ガソリン使用量	ℓ	本社	1,195	1,052	1,252	×	1,028	1,004	980
		浜松	4,305	3,788	2,968	◎	3,702	3,616	3,530
軽油使用量	ℓ	本社	4,072	3,583	900	◎	3,502	3,420	3,339
		浜松	2,119	1,865	1,497	◎	1,822	1,780	1,738
LPG使用量	kg	本社	219	193	167	◎	189	184	180
		浜松	89	78	46	◎	76	75	73
一般産業廃棄物	kg	本社	922	811	361	◎	793	774	756
		浜松	457	402	330	◎	393	384	375
産業廃棄物排出量	kg	本社	7,410	6,521	4,890	◎	6,373	6,224	6,076
		浜松	451	397	480	×	388	379	370
建設産廃リサイクル率	%	本社	100	100	100	◎	100	100	100
		浜松	100	100	100	◎	100	100	100
化学物質(PTRR物質)	kg	本社	1,843	1,621	1,105	◎	1,585	1,548	1,511
		浜松	356	313	590	×	306	299	292
水使用量の削減	m ³	本社	323	284	226	◎	226	271	265
		浜松	106	93	130	×	91	89	87
環境に配慮した製品の考案	%/年	本社	69	72	70	△	73	73	74

※(本社)購入電力の二酸化炭素排出係数は2017年度二酸化炭素調整後排出係数(九州電力 0.463kg-CO₂/kWh)を使用。

※(浜松事業所)購入電力の二酸化炭素の排出量は、中部電力の2017年度CO₂排出係数 0.472(kg-CO₂/kWh)を使用。

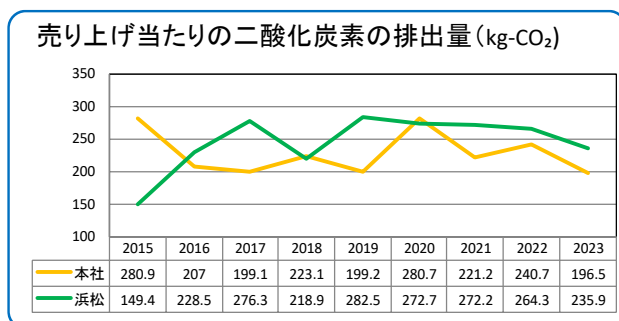
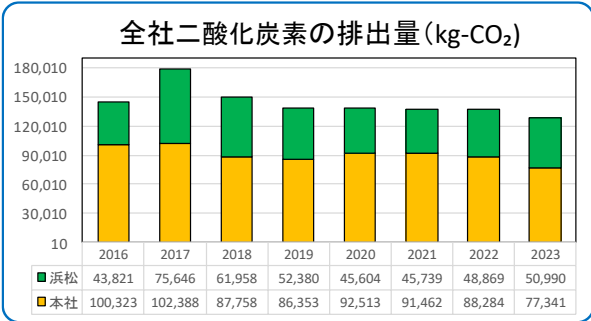
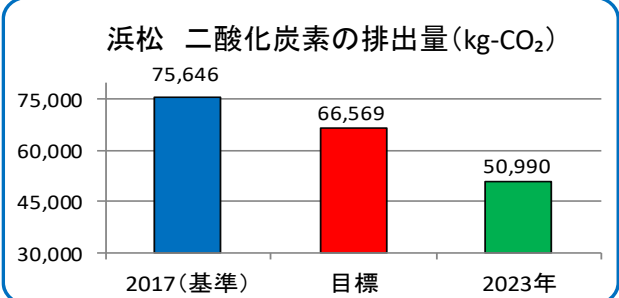
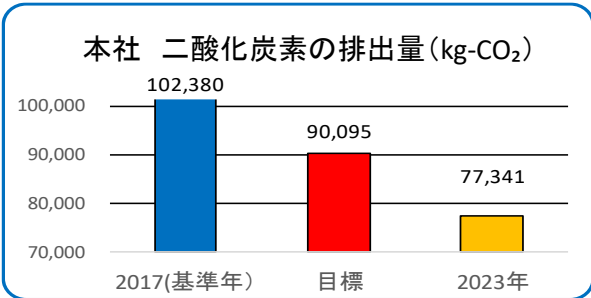
※ パリ協定で、わが国は温室効果ガス排出量を、2030年度までに2017年度比で26%削減を公約している。

環境経営目標に対する取り組み結果



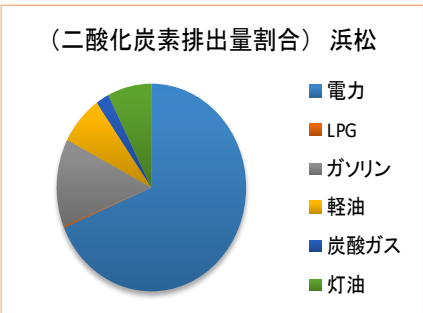
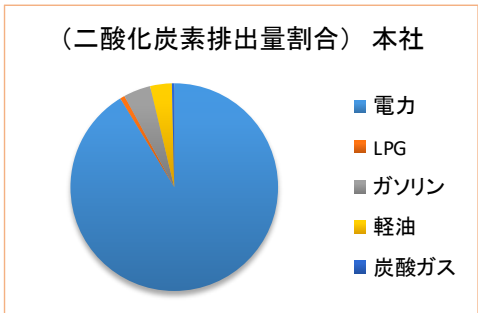
1. 二酸化炭素の排出量の削減

2017年度の二酸化炭素の排出量基準から12%削減目標とした。
その結果2023年度の排出量は、目標に対し本社、-13,015kg-CO₂)
浜松事業所、-15,579kg-CO₂削減、目標を達成できた。



温室効果ガスとは

地上は太陽から放射されるエネルギーで温められている。大気中に含まれる温室効果ガスは、温められた地上の熱を吸収して大気に再放射し、適正な地上の温度を保つ働きをする。大気中の温室効果ガスの濃度が上がると温室効果が過剰になり、地球温暖化現象を引き起こす。



CO₂削減を実現するためには個人や一部署ではなく、全社を巻き込んで行動する必要があります。CO₂削減への取り組みでどのように環境へ配慮しているのか、具体的な内容やこういったメリットがあったのかをチェックして、取り組んで行く。

電気使用量の削減



活動内容	
省エネ化の効果的対策	社内の照明をLEDに変更して消費電力を抑制
ムダな点灯時間を削減	人感センサーを導入
デマンドコントローラーの導入	デマンドコントローラーとは使用する電力量を監視
二重サッシの取り付け	断熱性能効果と同時に遮音効果
エアコンの冷暖房の温度設定管理	暖房時の室内温度は20℃、冷房の設定温度は26℃～28℃

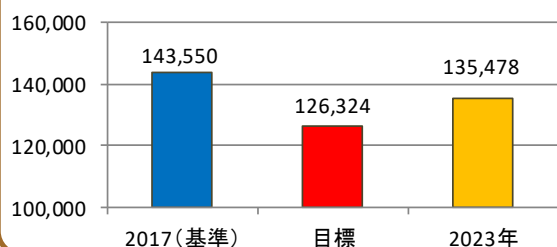
本社工場

2023年度本社の電気使用量の削減では、目標を2017年度比12%減を目標とした。その結果使用量が目標より、135,478kWh(9%)増加し目標を達成出来なかった。上半期に短納期で受注が入ったことで増加した。

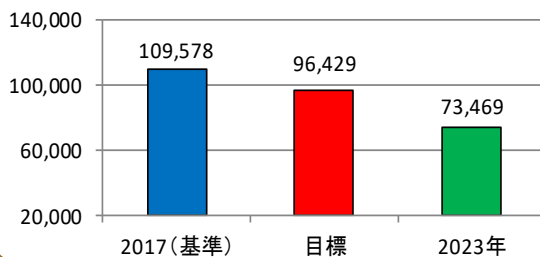
浜松事業所

2023年度浜の電気使用量の削減では、目標を2017年度比12%減を目標とした。その結果使用量が目標より、22,960kWh削減し目標を達成した。社員の節電に対する意識の向上が電力使用量の削減につながった。

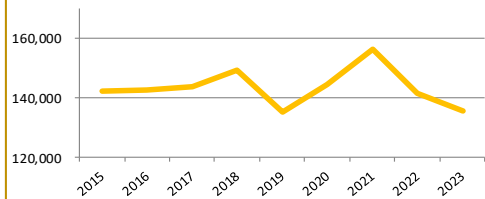
本社 購入電力使用量の削減 (kWh)



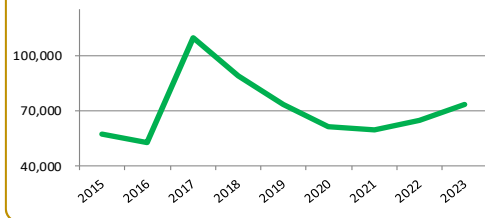
浜松 購入電力使用量の削減 (kWh)



本社 電力使用量推移 (kWh)



浜松 電力使用量推移 (kWh)



デマンドコントローラーの導入で電気の基本料金を抑える(=デマンド値を下げる)
デマンドコントローラーとは使用する電力量を監視、調節する機能を持つ機械のことです。



エアコンフィルター掃除

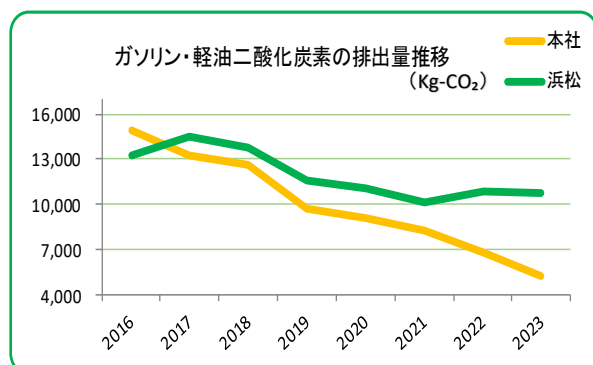
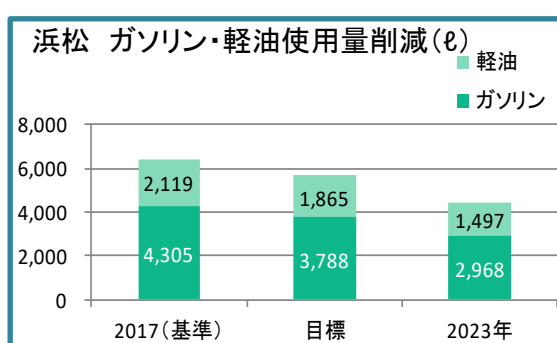
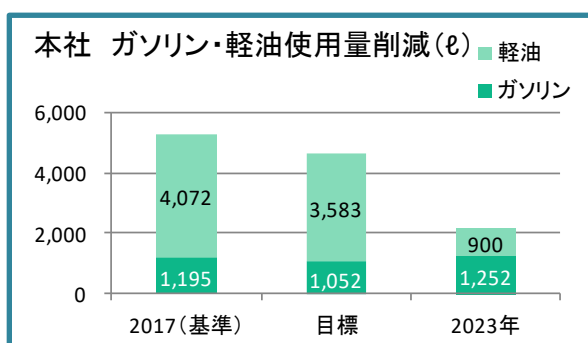
複写機・プリンター
エコマーク商品
省エネ・3R設計

ガソリン・軽油消費量の削減



活動内容	
エコカーの使用	エコカーへの順次更新検討
エコドライブの実施	エコドライブ10のすすめ
車両の定期点検	日常点検には、エンジンオイルの点検、タイヤの空気圧チェック

2023年度のガソリン・軽油使用量の削減では、2017年度比12%削減を目標にした。その結果、ガソリン使用量は 浜松事業所(2968ℓ)、軽油使用量は 本社工場(900ℓ) 浜松事業所(1497ℓ) となり目標を達成しが、本社工場の(ガソリン使用量は(1252ℓ)と目標を達成しなかった。原因として遠方の長期工事があったため、約700ℓが通常使用に上乗せとなった。



ハイブリッド車



エコドライブで環境に配慮した運転を

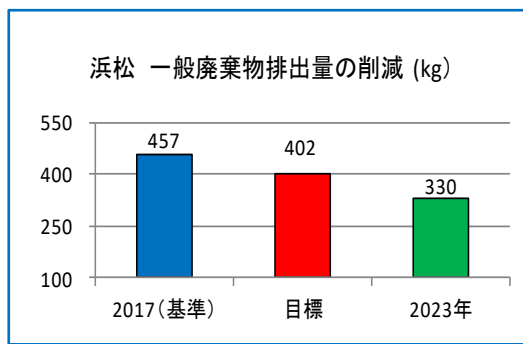
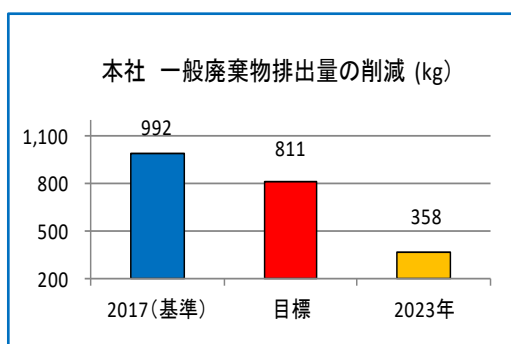
エコドライブを実践すると、無駄な燃料消費が抑えられ、車のガソリン代が10%程度改善するといわれています。また余裕を持った車間距離を保つことで、急発進や急ブレーキが抑えられ、交通事故のリスクが低減するという効果も期待されています。エコドライブは誰でも簡単に取り組める運転方法です。効果の実感しやすい燃費の把握など、できることからエコドライブを実践し、環境にも経済的にも人にも優しい運転を心がけていきたい。

一般・産業廃棄物排出量の削減

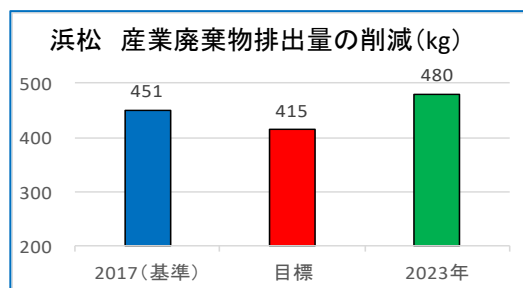
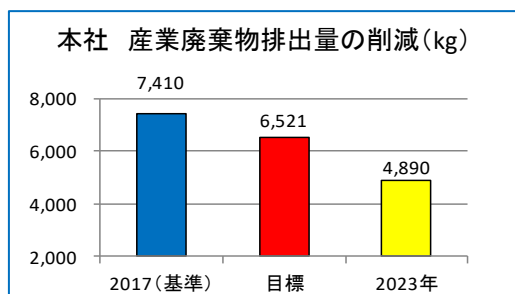


産業廃棄物排出量の削減
分別の徹底による再資源化・リサイクルの推進
廃棄物排出量の把握
作業ミスなどによる排出量の削減
コピー用紙の裏紙再利用

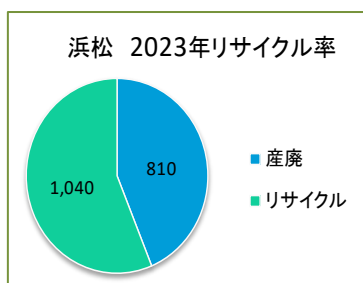
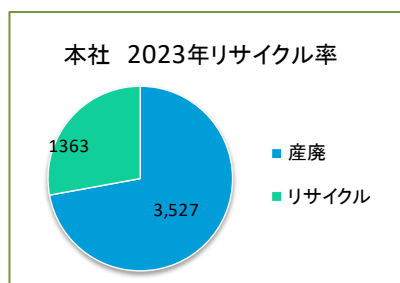
2023年度の一般・産業廃棄物排出量の削減では、2017年度比(12%)削減目標とした。その結果一般排出量は本社工場358kg、浜松事業所330kgで、目標排出量より本社工場453kg、浜松事業所72kg削減し目標を達成した。



産業廃棄物排出量は本社(4890kg)で目標に対して1631kg削減し達成した。浜松(480kg)で目標に対して+83kg増加し達成出来なかった。

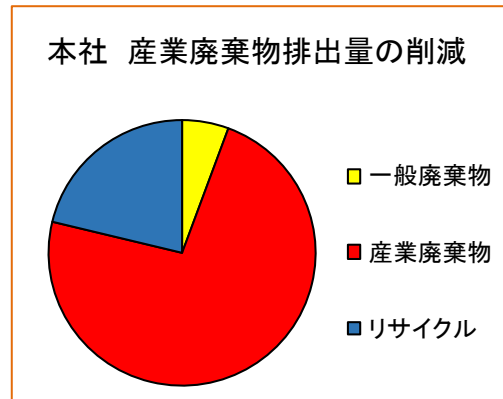
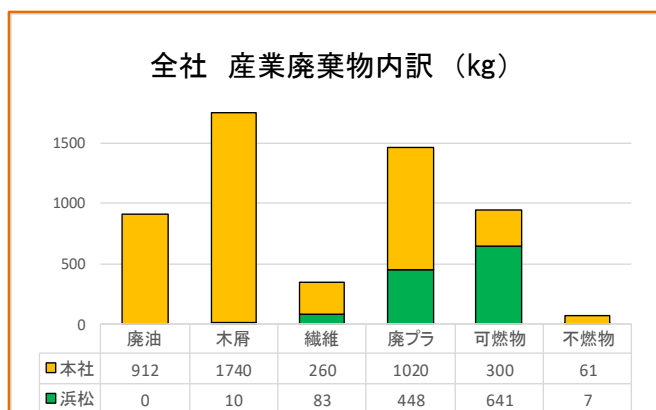


紙のリサイクルは、一度使われた紙(古紙)を繰り返し使うことで資源の有効利用になり、新たに投入される木材(パルプ用材)の量を抑制することで、森林資源の持続可能な利用に貢献します。また、紙のリサイクルは、廃棄物として処理される紙の量を削減し、廃棄物減量化に貢献します。

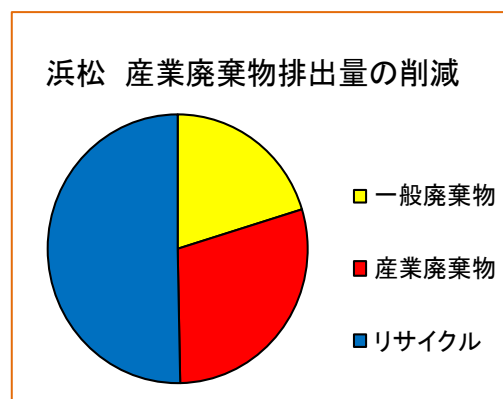


産業廃棄物の分別

産業廃棄物の場合は、「紙くず」「廃プラスチック類」「金属くず」等、廃棄物の種類ごとに分別します。素材が複合されているものなど、分けることが困難な廃棄物は「混合廃棄物」として種類ごとに分別された廃棄物とは別の扱いとします。



製造現場で出る廃棄物が他社では原料として再利用できると再定義する機会もあまりなく、そのまま処理業者に費用を支払って引き取ってもらうのが『普通』という感覚があります。しかし、今までは捨てていた『モノ』が、別の原料としてリサイクル出来ないかと考えてみることで、廃棄物処理のコストダウンにつながるのです。自社の廃棄物の中に、原料となり得るものがあるのなら、処理費用の削減だけでなく、有価物化することも可能となるかもしれません。



ゴミの分別



本社工場



浜松事業所

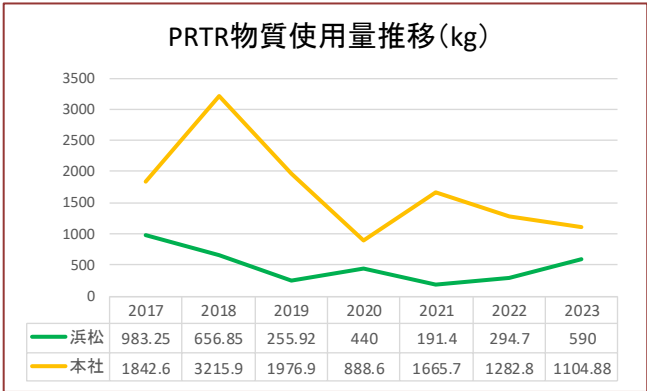
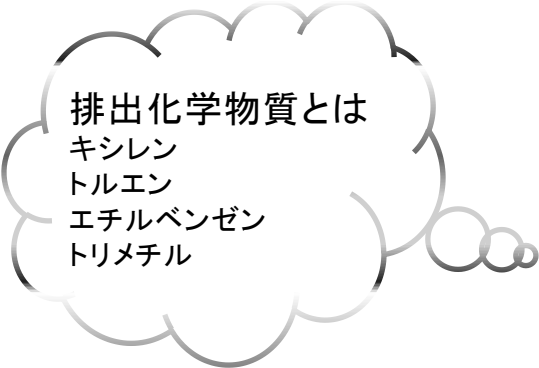
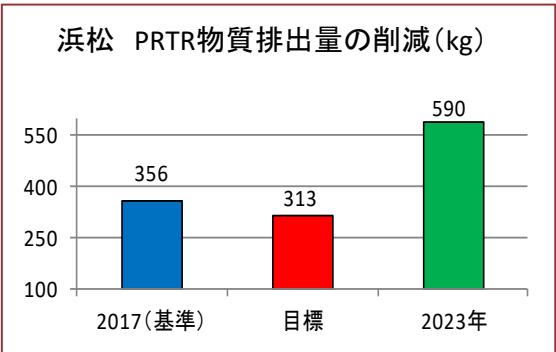
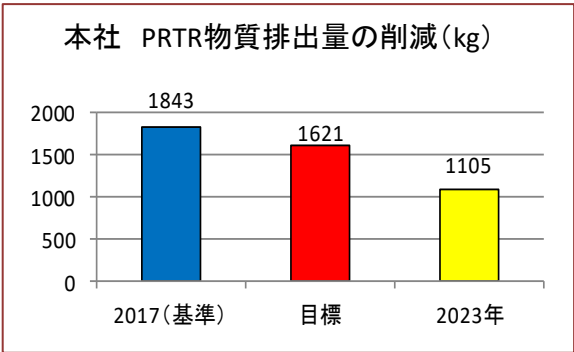
PRTR物質使用量の削減



PRTR は法律で定められた制度です。1999（平成11）年に公布された「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」に基づき、対象化学物質や届出をしなければならない事業者などが決められています。この法律は「PRTR 法」または「化学物質管理促進法」と言う。

活動結果

PRTR物質使用量の削減では、目標に対して、本社工場(516kg,)削減。
浜松事業所(277kg)増で目標を達成出来なかった。原因として仕事の量は増加しているため、生産量あたりの取扱量、排出量ともに増加した。



PRTR 法に基づいて事業者が届出が義務付けられた化学物質です。事業者は、毎年、前の年度に事業所から排出された化学物質の量及び廃棄物として事業所の外へ移動させた量を、その事業所の所在する都道府県の知事を経由して国へ届け出ることが義務づけられています。排出量は排出先によって大気、水域（河川、海などの公共用水域）、土壌、埋立処分の4つ、移動量は下水道、当該事業所の外の2つに分類されて届け出られます

次年度の取組内容

活動方針	活動内容	SDGS
電気使用量削減	・電気ヒーターやスポットクーラーのスイッチを自動でON,OFFさせる人感センサーをつけて、消し忘れをなくす。 ・工場照明をより明るくし節電も出来る照明器具へ交換をする	 
ガソリン使用量削減	・社用車の更新ごとにハイブリット車へ更新していきガソリン消費量をさげる。 ・運転時にはエコドライブを心がけるよう呼びかける。	 
軽油使用量削減	・アイドリングストップの励行を行う。 ・エコドライブを徹底する。	 
廃棄物排出量の削減	・ごみ分別を徹底する。 ・購入品の廃棄物排出量削減を推進する。 ・裏紙を使用する。	 
排水量の削減	・水漏れの定期的点検異常値のチェックを行う。 ・従業員1人1人の節水に対する意識の向上に取り組む。	 
化学物質使用量の削減	・PRTR制度対象物質の排出量を把握し、管理する。 ・有害物質の少ない塗料の使用を心がける。	
環境に配慮した製品の提案	・エネルギー使用の低減、CO₂の削減に努める。 ・リサイクル性、分別性などの向上により環境に配慮する。 ・有害化学物質の排除を行う。 ・低騒音、低振動、低悪臭で生活環境に配慮する。	   

軍手の再利用



乾電池の削減



塗装時のタップ穴
養生用ボルトの削減



環境上の緊急事態への準備及び対応



工場内漏洩事故訓練（シンナー、切削油漏洩実施）。
吸収シートの場合の把握や仕様方法を確認。



安全教育（リスクアセスメントへの取り組み）



本社工場



浜松事業所

地域清掃活動



毎年4,7,10,1月の計4回清掃活動を行っております

これまでの取組内容



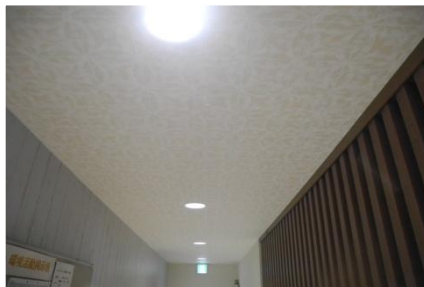
全棟蛍光灯からLEDに



全棟二重サッシに



人感センサー取り付け



自動水栓 取り付け



福岡県エコ事業所応援事業登録

2019年1月より福岡県エコ事業所応援事業の登録をしました。登録した理由ですが、各有名な事業所が参加しており、エコ活動が福岡県全体で活動していることに驚きを受けたのと、エコアクション21の登録以外にこのエコ事業所も登録することで、社員一人ひとりの環境への意識が高まり、環境保全活動や社会貢献活動に取り組むと思ったからです。今後もエコ活動を続けていき、環境保全と豊かな地域社会に貢献する企業を目指します。

- **福岡県エコ事業所とは**
- 福岡県内に所在する事業所が、電気や自動車燃料の使用量削減などの地球にやさしい活動に取り組む事を宣言する事業所です。
当社もエコ事業所として登録・宣言し、地球にやさしい活動を続けています。



福岡県エコ事業所登録番号第3710号

環境関連法規などの遵守状況

当社が遵守しなければならない主な環境関連法規は次の通りです。

廃棄物処理法・フロン排出抑制法・浄化槽法・消防法
・騒音規制法・労働安全衛生法・化管法

適用される主な環境関連法規等の一覧及びそれらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘もありません。

代表者による全体の評価と見直し

景気は緩やかに成長しているとの政府報告ではあるが、エネルギー価格の高騰に伴いガソリン代や電気代金の上昇や仕入れ資材の価格上昇により経営的な課題となってきたおりエコアクションを通じ経営改善を行う必要がある。

電気代金やガソリン代金の削減と事業の効率アップを兼ねる対策として、下記及び他の対策を検討し実施に向けて準備をする。

※電気ヒーターやスポットクーラーのスイッチを自動でON,OFFさせる人感センサーをつけて、消し忘れをなくす。

※工場照明をより明るくし節電も出来る照明器具へ交換する。
照度が上がる事で作業効率 につながる。

※社用車の更新ごとにハイブリット車へ更新していきガソリン消費量をさげる。

※社用車の使用頻度を下げる方法として様々な工事製作工程を考え無駄なく最短移動できるルートや日程をまとめ効率の良い使い方にする。

その他では水の使用量が本社浜松共に増加しており、内容の分析をし必要であれば対策を行う。

上記をエコアクション会議で十分検討し、より良い案を取りまとめてください。

石山安史